

作成日:2013年11月19日

改訂日:2022年8月31日

製品安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	HISCL TARCキャリブレータ
統一商品コード	087040999
会社名	塩野義製薬株式会社
住所	大阪府中央区道修町3丁目1番8号
担当部門	診断薬事業室
電話番号	06-6202-2161
FAX番号	06-6331-8972

整理番号:D019

2. 危険有害性の要約

本製品は、通常使用する量が飛散しても、重篤あるいは急激な健康への影響は引き起こさないか、重大な影響を防止する緊急処置を必要としない。

GHS分類

本製品はGHS分類に該当しない

GHSラベル要素

該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

構成試薬	含有する有害物質
HISCL TARC C0、C1、C2、C3、C4及びC5	報告できる量の有害物質を含まない

化学的特性に関する情報 凍結乾燥品

化学名又は一般名 情報なし

化学式 情報なし

CAS番号 情報なし

官報公示整理番号(化審法・安衛法)

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移す。

	必要なら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	接触部位を水と石鹼でよく洗う。かゆみ、炎症等の症状が出た場合には、速やかに医師の診断を受ける。
眼に入った場合	清浄な水で最低15分以上洗眼したのち、必要なら医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水でよく口中を洗浄し、必要なら医師の診断を受ける。
予想できる急性症状及び遅発性症状	データなし
最も重要な兆候及び症状	データなし
応急措置をする者の保護	特に必要ない
医師に対する特別な注意事項	データなし

5. 火災時の措置

消火剤	水、粉末、泡消火剤、炭酸ガス
特有の危険有害性	情報なし
特有の消火方法	容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火に際し呼吸保護具、保護眼鏡等の着用が望ましい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	保護手袋、保護眼鏡を着用し、風下で作業しないように注意する。人体への措置は特に必要ない。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化方法及び機材	情報なし
回収・中和	漏出した物質は拭取り、表面を大量の水で洗い流す。
二次災害の防止策	情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	粉末を吸入しないように留意し、適切な保護具を着用する。
安全取扱注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

	眼、皮膚、または衣類に付けないこと。 飲み込まないこと。
接触回避	情報なし
保管	
技術的対策	情報なし
混触危険物質	情報なし
保管条件	ラベルに表示した条件で保管する。
安全な容器包装材料	製品に使用している容器をそのまま使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	データなし
設備対策	適切な換気装置のある区域で取り扱うこと。
保護具	
呼吸用保護具	防塵マスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣

9. 物理的及び化学的性質

構成試薬	物理的状態、 形状、色	臭い	pH	物理的状態が変 化する特定の 温度/温度範囲	密度	溶解度
HISCL TARC C0、C1、C2、 C3、C4及びC5	白色～淡黄色の 軽質の塊又は粉 末	データ なし	7.3～7.5*	データなし	データ なし	水に溶解

*:使用方法に従って溶解した場合のpHである。

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の条件下では安定である。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性	データなし
------	-------

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性・刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性: データなし 皮膚感作性: データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性・全身(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

生体毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	大量の水で希釈して廃棄すること。
汚染容器及び包装	汚染した容器は水で十分洗浄し、各地域の規則にしたがって廃棄すること。

14. 輸送上の注意

本品は混合物である。輸送危険物に該当しないが、運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れを確実に防止する。

国際規制によるコード及び分類に関する情報

情報なし

国内規制

該当しない

15. 適用法令

適用される法令	薬事法(体外診断用医薬品)
---------	---------------

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、人体への影響に関するデータが不十分なので取扱いには十分注意を払う必要があります。又、記載事項は通常の実施を対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。